

◆ 大会組手試合規定

* ホームページで最新ルールを必ず確認してください。



審判基準 SCC組手試合ルール JPN武術空手道協会特別措置に準じて行います。

* 本大会に限り、安全対策として、特別ルールを設定しました。

最重要事項；ヘッドガードは選手自身で準備とし、貸し出しは一切不可。

ヘッドガード着用し、マスク着用又は、シールドを装着して下さい。【面外す】

有効な技	手技	中段への拳突き・肘打ち・手刀
	足技	前・後蹴り、前・後廻蹴り・横蹴り 【エキスパート】上段膝蹴り（規制あり）、回転胴廻し蹴り
無効な技 (反則含む)	手技	掴み・引っ掛け、押し。体に掌底、鉄槌、貫手、孤拳、腕刀での攻撃。（受身除く）
	足技	逆関節への攻撃、下腹含む金的。 【ルーキーズ】上段膝蹴り、回転胴廻し蹴り

* 試合時間別紙参照

試合の勝敗

- 勝利** 一本勝ち・判定勝ち・相手側の失格行為による、反則勝ち。
- 一本勝ち** 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手を戦意喪失させた場合。
一、「技あり」2回で一本勝ちとする。
- 技あり** 一、上記記載のクラス有効技を確認してください。
一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手が一時的に止まった場合、または、その攻撃で倒れた場合。
上段蹴りは顔面への接触だけでは認めず、威力の具合を重視します。（審判判断）
一、下段中段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって直後に相手に残心を決めた場合。
- 判定** 一、一本勝ちの決まらない時は判定で勝敗を決め、引き分けの時は延長戦を行なう。
* 三位決定戦や決勝戦は再延長戦をおこなう。
一、延長戦（再延長）で優劣をし、絶対判定とします。
（体重差優勢判定は無し）
* 再延長戦は、三位決定戦、決勝戦に限る。
- 反則** 一、上記記載のクラス反則行為を確認してください。
一、頻繁に手技による頭、顔面、首への攻撃は注意1とする。
一、頭部や身体を密着しての攻撃。 又、突きが出来ない間合いだと審判が判断した場合は、「待て」とし、引き離します。
一、場外へ逃げた（攻撃でのダメージ含む）場合。（3回目で減点1とする）
一、手技足技を出した後、相手に攻撃をさせない為、故意に倒れ込む。
「掛け逃げ」と判断された時。
一、審判団の判断で悪質な反則攻撃や悪質な試合態度とみなされた時は即座に失格。
一、反則は注意2回で減点1とし、減点2で失格とする。
一、選手の応援者が審判団や相手選手への中傷、罵声、暴言等をした場合は応援側の選手に対して減点又は失格。（対戦相手には敬意を持ちましょう）
* 「技あり」と「減点1」は相殺する。



特記

- ① 男子は胴衣上半身に下着着用は不可。女子は1枚（白か黒）とします。【清潔な物とします】
- ② テーピングは、怪我報告し、許可制とします。
- ③ サポーターは、**布製のみに限る。**【清潔な物のみ。臭いが強い場合は交換を命じます】